一般質問
（要旨）

新型コロナ危機のもとで、若者・学生の市独自支援を

日本共産党昭島市議団　佐藤　文子　議員

質問　新型コロナ危機の下での市民の苦難軽減策の強化について、①新型コロナウイルスにより、非正規雇用者が大変な打撃を受けている。非正規雇用の問題に対して、考えは。②生活福祉資金の特例貸付制度における償還免除の周知を。③市の様々な意思決定の場に、幹部職員を含め、女性を増やしていくことは重要であるが、考えは。④学生が学ぶことを諦めることがないよう、自治体としての支援策が必要では。⑤文化・芸術団体は新しい生活様式の下での活動の在り方、感染拡大防止の取り組みが求められており、こうした団体への支援は重要と考えるが、今後の取り組みは。

答弁　①正規・非正規ということではなく、就職の問題と捉えており、あきしま就職情報室において求人情報の提供等に努めている。②社会福祉協議会と連携し、情報提供に努めていきたい。③部長職や課長職の女性の割合は増えており、能力に応じて対応していきたい。④支援の強化について、国や都の動向を注視し、緊急性等を勘案する中で、引き続き、検討していく。⑤感染状況を注視する中で、支援を推進していく。

質問　横田基地について、①在日米軍が保有するPFOSを含む泡消火剤の現状は。②美堀町二、三丁目のまちづくりは、住民の要望に沿って柔軟に進めるべき。

答弁　①米国から、厳格に管理し、順次交換を進めている旨の説明を受けている。②引き続き、有償使用による使用許可の状況等を見極めつつ、国と連携を図る中で、市民花壇としての利用手続きや狭あい道路の解消に努めていく。

地球温暖化、気候変動の取り組みについて

みらいネットワーク　篠原　有加　議員

質問　待ったなしの気候変動に対して、抜本的に取り組まなければならない。環境基本計画策定について、①市民とともに目標値を定め、進めていくべき。②気候非常事態宣言を行うべき。

答弁　①環境審議会、パブリックコメントの意見等を参考に、可能な限り数値化しながら目標を設定していく。②引き続き、前向きに検討していく。

質問　市民と環境問題に取り組むために、①市内事業者と連携し、マイボトルに給水できる店を増やす考えは。②販売期間を賞味期限や消費期限の日まで延長する他市の事例などを参考に、事業者と一緒にフードロス削減を考えていくべき。③肉から野菜中心の食事に変更することは、気候変動を大きく緩和するとの報告がある。菜食普及に対する所見は。

答弁　①商店等との連携を検討した経緯があり、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、改めて検討したい。②他市の事例を参考に、事業者へ啓発を重ねていきたい。③畜産の二酸化炭素排出等に関して、正しく理解してもらえるよう、啓発などに努めていきたい。

質問　HPVワクチンについて、①多様な副反応が重層的に現れ、副反応の発生率は高い。接種勧奨の中止と副反応について明記することなく案内を送るべきではないと考える。見解は。②子宮頸がん検診受診者が増えていない。検診の必要性について周知すべきでは。

答弁　①積極的勧奨は行わない方針であり、定期接種対象者が適切に判断することができるように情報提供に努めていきたい。②より充実させなくてはならないと考えている。

あれなんだろう?
（エコ・パーク）

昭島市の魅力を発信するプロモーションについて

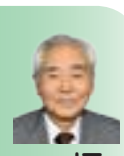
自由民主党昭島市議団　金井　悦子　議員

質問　私たちの愛するまち、昭島市への郷土愛を更に深めていくため、市の魅力を発信するための効果的なシティプロモーションに取り組んでいくことが必要と考える。世代を超えてつながる、新たな市の魅力を発信するツールとして、インスタグラムなど、若い世代を中心に利用が多いSNSを活用していく考えは。

答弁　若い世代に市の魅力を直接届ける方法としてSNSを活用する効果は重要視すべきと考える。シティプロモーションとしてのSNSは、商工会や観光まちづくり協会などとも連携しながら効果的に取り組む必要があることから、各SNSの特徴を踏まえ、既にふるさと納税できる共感応援型のシステムを導入する考えは。

答弁　ハード面を含めた基盤システムの構築が必要であり、費用対効果の面からも、導入自治体の状況を見極める必要があると考える。引き続き、地域を応援する仕組みの構築などを検討していくとともに、シティプロモーションの視点を踏まえ、昭島市のまちづくりに協力したいと考えてもらえるようなふるさと納税につなげていきたい。

拝島公園プール跡地の利活用について



自由民主党昭島市議団　馬場　保　議員

質問　拝島公園プール跡地の利活用について、①当面の暫定的な利用形態は。②プール開設中は、樹木が効果的に目隠しの役割を果たしていたが、誰でも自由に利用できる広場として活用する場合、プール跡地の東側の樹木を伐採し、周辺からの見通しを良くすることが防犯対策として必要と考える。見解は。

答弁　①車両進入防止のため、敷地の外周に支柱・チェーンを設置しているが、運用しているツイッターとの関連も考慮しつつ、導入に向けた検討をしていく。

質問　昭島市は、自然豊かで、訪れる方が楽しむことができる施設が既に多くあることに加え、都心部からも近い立地にあり、訪れた方に素晴らしいまちであることを十分にPRできる環境にある。シティプロモーションの一環として、市外から訪れた方に昭島市の魅力を知っていただき、更には応援していただく手段として、訪れた方がその場で納税できる共感応援型のシステムを導入する考えは。

答弁　ハード面を含めた基盤システムの構築が必要であり、費用対効果の面からも、導入自治体の状況を見極める必要があると考える。引き続き、地域を応援する仕組みの構築などを検討していくとともに、シティプロモーションの視点を踏まえ、昭島市のまちづくりに協力したいと考えてもらえるようなふるさと納税につなげていきたい。

自由に利用できる広場として開放している。また、一般的な広場として開放しているため、予約貸し出しなどを行う予定はない。②高木化している樹木もあるため、防災・防犯の観点も踏まえ、剪定・伐採・植え替え等について検討していく。

質問　拝島地区多摩川堤防遊歩道の安全対策について、①河川管理者に対する要請の時期や内容は。②事故防止の観点から、路面標示だけでも早期に実施すべきと考えるが、見解は。

答弁　昨年8月に、国土交通省等に対して、遊歩道の幅員の拡大や自転車走行ルールの策定支援などを含めた要請を実施した。②限られた幅員に対してどのような方法が可能か、引き続き国土交通省京浜河川事務所と協議を行い、歩行者の安全確保に努めていく。

質問　交差点の地点名標識の日本語名に併記してある英字表記について、英語で表示されている標識もあれば、ローマ字で表示されている標識もある。統一的に表示されるべきでは。

答弁　平成26年に英語併記へと改正されたが、改正前の標識が混在していることから、引き続き、地点名標識の整備に努めていく。

6面下段より

介護保険特別会計

反対　日本共産党昭島市議団　荒井　啓行　議員

第8期計画の基準月額保険料は230円値上げするとのことだが、介護保険給付事業運営基金のうち、7億9千万円を繰り入れることにより保険料を据え置くことができることを指摘する。

また、国が調整交付金の減額分として、1.73%を65歳以上の1号被保険者の負担としていることは看過できず、本予算に反対する。

賛成　自由民主党昭島市議団　森田　久夫　議員

基金を最大限活用し、保険料の大幅な上昇を抑制しており、公平な制度運営と低所得者への支援を図る中、歳入の確保に努めている。

また、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた施策を展開するための予算も的確に計上されている。

引き続き、持続可能な制度運営の確保に努めることを願い、本予算に賛成する。

昭島市介護保険条例の一部を改正する条例を可決とする委員長報告について

反対　日本共産党昭島市議団　荒井　啓行　議員

基金の残高が令和2年度末で、約7億9千万円となっている。そのうち2億円は繰り入れず、今後の運営のために積み立てるとのことだが、今後3年間の運営で相応の基金への積み立てができるはずである。

2億円を基金から繰り入れることで、介護保険料の上昇を抑制できると考え、本条例に反対する。

本会議インターネット中継をご覧ください

市議会では、より身近に議会の活動を知っていただくため、本会議の映像をインターネットで配信しています。

昭島市議会ホームページよりご利用ください。

○ライブ中継
本会議の開催中に配信

○録画中継
本会議の各開催日の概ね5日後（土・日・祝日を除く）の午後から配信

QRコード